

いうものである。セメント硬化体には、ナノスケールの孔が連結し合いネットワークが形成される。液状水やガスの移動は、これら空隙の連結性に支配され、コンクリートの劣化現象は全て空隙構造に通底する。空隙構造解明により、ナノスケールの構造から万年スケールの耐久性を予測することが可能となる。放射線廃棄物を格納するコンクリートのバリア性能評価など、精度を求められる難問に有効だと考える。

滞在中には、大気中の炭酸ガスと反応し中性化したセメント硬化体の空隙構造について、Karenが得意とする電子走査顕微鏡（SEM）を用いた分析と筆者らが提案した水銀漸次繰返し圧入法による分析で得る構造の統一を図った。中性化では、毛管空隙の粗大化、空隙壁面となる水和生成物フロントが水和物の縮合重合によ

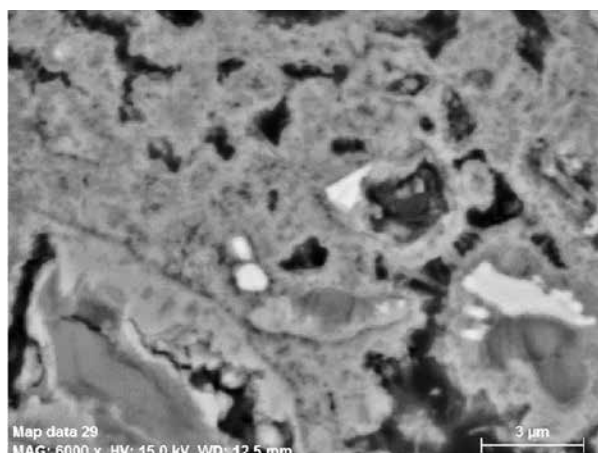


図1. 中性化したセメントペーストの構造

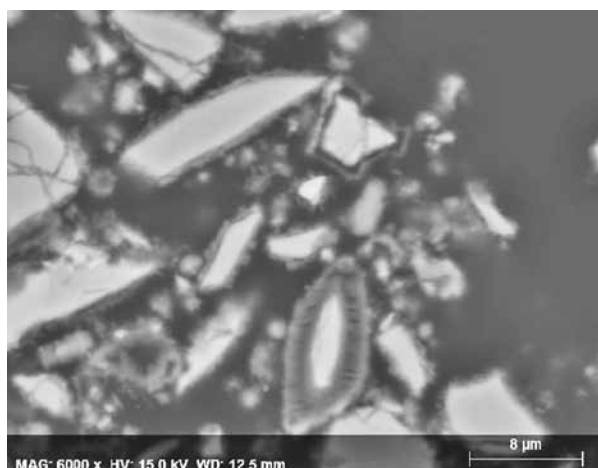


図2. 析出サイトを選ぶセメント水和生成物

り密な構造となること、そして内部に微小な空隙を残すことが起きていると、SEM画像のコントラストよりわかる（図1）。水銀漸次繰返し圧入法で得ていた、強固な骨格（壁面）構造と微小なインクボトル空隙という中性化したセメントペーストの特徴が、SEM観察により視覚的に捉えられた。

高炉スラグ微粉末を用いたセメントペーストにおいて、セメント水和物が析出しやすい場所を特定するため、水セメント比の大きな試料を作製し、SEM観察をした（図2）。この検討は組織（空隙）構造の形成をイメージするうえで有用である。

また、現在の電子走査顕微鏡の分解能を超える、より微細な構造に関しては、核磁気共鳴を用いCaO-SiO₂-nH₂O gelの構造を解析する研究によって検証できることを知り、帰国後の研究課題として取り組んでいる。

おわりに

帰国が迫り研究と引越しの準備に追われていたクリスマスの朝、出勤のためメトロに乗っているのは黒髪のアジア人だけだった。この渡航を通して研究思想や人種の違いを、身を持って知り得た。今後は「組織力・緻密さ・努力」など日本人の長所を活かした研究スタイルで競合していきたい。夕陽で桜色に染まった雪山を、空港に向かう車窓から眺め、スイス滞在を家族と最後まで惜しんだ。

吉田亮氏の略歴

2004年 東京理科大学理工学部土木工学科 卒業
2006年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学
修士課程 修了
2009年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学
博士課程 修了
同年 名古屋工業大学 社会工学専攻 助教

名工大の新技术

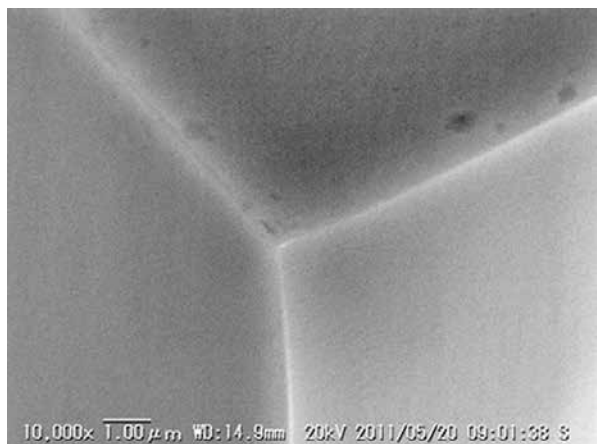
安心安全を産む刀具開発

産業戦略工学専攻 教授・副学長 江龍 修

近年、CFRPやチタン合金など、難削材の切削加工において、硬度と耐久性を兼ね備えた刀具が、航空機機体材料や高精度自動車部品開発の現場で強く求められている。加工用刃物の価値は「被加工物の安心・安全を生み出すためには、用いられる材料の能力を最大限に発揮すること」と捉え、形状を作り出す部材を構成する原子配列を考えながら加工できる刀具の開発を目指している。

新規の刀具開発にあたっては、形状整形される素材固有の能力がエンドユーザーの手元で最大限に発揮できる状態に出来ること、及び、加工を力学的破壊の連続として捉えず、刀具と被加工素材同士の接触反応、即ち、接触点における化学反応結果が被加工物の表面性状を生み出していると考えることの2点を刀具開発設計思想とした。

従来の超硬と呼ばれる素材を用いた刃物が通過した下層には、被加工材料において原子配列の乱れが生じ、材料本来の性質とは異なる表面状態が無意識に作りこまれている。即ち、現状刀具を用いる限り、被加工材料表面には数十から数百ミクロンに及ぶ加工変質層が必ず残留する。



SiC刀具刃先

新規開発刀具は2つの要素を持つ。一つは刃先が被加工材料を構成する原子配列と比肩出来る程度まで鋭利化することである。更に、工作機械のミクロな



振動による予期せぬ機械的応力に耐える靱性を有することが第一の要件である。更に、加工変質層を生み出す要因の一つである、刀具材料と被加工材料との化学的反応性を極小化するために、加工時の刀具材料と被加工材料との電子のやり取りが少ないことが第二の要件である。

その化学反応を極小とするためにSiC（炭化珪素）を選択した。SiCはダイヤモンドに次ぐ高度を有し、更に、半導体加工技術を用いることで刃先の鋭利化が可能である。また、金属との電子的なやり取りが少なく、刀具材料として有望であると考えた。図はSiCを刃物用に専用に結晶成長させ、化学機械的研磨法により、最表面まで単結晶面を表出させ、刃先丸み20nmを実現したものである。

今後は刀具製造におけるイノベーションが、作られる部材やそれによって形成される機器のイノベーションに挑戦する企業との協業を考えていきたい。

（2012年10月23日中部経済新聞に掲載）

光照射による3次元復元 —光を当てるだけで超高速に形状復元—

情報工学専攻 教授・学長補佐 佐藤 淳

カメラ画像をもとに現実の物体の3次元情報をコンピュータ上に再現する3次元復元技術は、製品検査や距離計測など様々な分野で応用されている。

これまでの3次元復元技術は大きくパッシブ法とアクティブ法に分類できるが、いずれにおいてもカメラなどのセンサ部と、センサで受けた情報を基に復元処理を行うコンピュータなどが必要である。またいずれの方法でも一定の計測遅れが発生すると共に、誤対応による計測誤りなどが避けられない。

佐藤研究室では、これらの問題を解決するため、光を当てるだけで復元結果を出力する全く新しい原理に基づく3次元復元技術を開発した。この技術では、カメラなどのセンサやコンピュータが必要なく、特殊にコード化された光を照射する発光部のみを持てばよい。センサやコンピュータが不要なため、これまでの画像3次元復元で必要とされていたコストを大幅に削減することが可能である。さらに、光を当てるだけで結果が出るため、3次元復元の処理時間はゼロである。すなわち、光の到達速度で3次元復元から結果の表示までの処理が完了する。



コード化光により距離情報を色で可視化

また従来のステレオ復元のように対応点を探索する必要がないので、誤対応による復元誤りが一切発生しないなど夢のような特性を持つ。



この斬新な3次元復元技術は、これまでの情報処理技術を根底から見直し、復元処理の無駄を全て省くことで生まれた。一般の3次元復元技術では、センサで情報を取得し、演算処理部で3次元復元を行い、表示部で復元結果を表示する。しかし最終的に結果を人に表示するのが目的ならば、センサで情報を取り込んで復元処理しなくても復元結果を提示できる可能性がある。

この可能性を追求した結果、コード化された特殊な光を複数の方向から物体に対して当て、これらの光が物体上で混合することを用いて物体の3次元情報を復元し提示することが可能となった。この技術を用いると、製品検査などにおいて、光を当てるだけで設計形状からの逸脱を提示したり、車のヘッドライトをコード化することで前方車両までの距離情報をドライバーに提示することなどが、センサもコンピュータも使わずに実現可能である。

佐藤研究室ではこのように従来の常識を覆す様々な3次元復元技術を開発し、産業界への普及を目指している。

(2012年11月27日中部経済新聞に掲載)

シミュレーション先行で優れた材料を探す —リチウムイオン電池と京都の竹—

物質工学専攻 准教授 中山 将伸

私たちの研究室では、リチウムイオン電池の次世代化に繋がる材料開発を行っている。リチウムイオン電池とは1991年に日本で初めて商品化された充電電池で、重量当たりのエネルギー容量が大きい。その結果、携帯電話やモバイル機器の電源として広く普及し、私たちの生活スタイルを大きく変化させた。今後は、環境問題の切り札となる電気自動車の電源として注目されている。

しかし、リチウムイオン電池による自動車用電源の開発には様々な技術的課題がある。中でも＋極と－極の間でリチウムイオンを伝達させる電解質と呼ばれる材料は、可燃性の有機電解液（液体）が用いられており、自動車事故などが起きた時に激しく燃え上がるリスクを抱えている。この現状を解決すると期待される材料が、リチウムイオンを流すセラミックス材料（イオン伝導性セラミックス）である。セラミックスとは、端的に言えば陶磁器のことなので燃えることのない安全な材料である。しかし、液体と見比べると「静かな」セラミックスはイオンのような粒子を流す媒体として不向きであり、非常にイオンの伝達性に乏しい材料である。

そこで、私たちは近年急速に進歩してきたシミュレーション技術に注目し、これを利用して効率的にイオンを「よく流す」材料の探索をしようと考えた。

うになった。全ての材料を網羅的にシミュレーションすることは難しいが、「抜き取り検査」のアイデアによって統計的に性能を推測し、ベストな材料を短時間に見つける方法論を研究している。また、セラミックス内部のリチウムイオンの流れ易さ以上に、電解質と電極（＋極または－極）の境界（相界面）でイオンを伝達する機構も電池性能に重要であることが認識されている。つまり役割の異なる電極と電解質の材料のペアをどのように選定するかも重要な課題である。

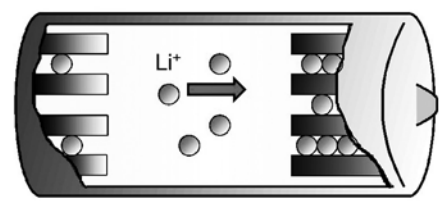
電灯を事業化したエジソンは、電球のフィラメントとして「京都の竹」が最も優れた材料であることを見出すまでに大変な努力を払ったと伝記に書かれている。私たちは、2012年秋から

開始したJSTのさがけ研究や、京都大学、触媒・電池元素戦略拠点研究のプロジェクトにて、理論（シミュレーション）と実験を融合した新しいアプローチで、電池にとっての「京都の竹」ともいえる優れた材料発見への挑戦を試みている。

（2013年1月15日中部経済新聞に掲載）



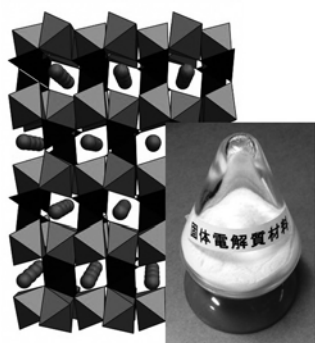
現在のリチウムイオン電池
電池の中で、リチウムイオン(Li⁺)が
＋極と－極を往復することで充放電



－極

電解質

＋極



シミュレーションで優れたイオン伝導性セラミックス材料を予言する

リチウムイオン電池とセラミックス材料

情報 ネットワーク

平成26年 名古屋工業会東海地区新年互礼会の開催報告

平成26年1月5日(日)の正月休みの最終日に名古屋工業会東海地区新年互礼会が開催されました。最高気温が10℃を下回る小寒にもかかわらず、名古屋工業大学の大学会館に約100名が集いました。

互礼会は、まず春日名古屋支部長の挨拶および今年の活動方針紹介から始まり、来賓の方々のご挨拶とご紹介、続いて篠田理事長、大学側からは木下理事・副学長からご挨拶を賜りました。玉田尾張支部長の乾杯のご発声の後、新たな年を迎えた華やいだ雰囲気の中懇談の輪が咲きました。

毎年恒例の餅つき大会では、各単科会の代表者が代わる代わる杵を力強く振るって大いに盛り上がりました。

単科会ごとの記念写真撮影のあと、景品くじ引き大会へと進み、景品当選者から多くの喜びのコメントを頂きました。そして出席者全員による名古屋工業大学の学歌斉唱が行われ、最後に二枚常務理事による中締めにて2時間近くにわたった互礼会が終了しました。本年も参加をいただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

記：本多沢雄(Y⑥)



篠田理事長の挨拶



木下理事・副学長の挨拶



餅つき大会



学歌斉唱

平成25年度 東京支部総会レポート

今年(平成25年)は平成23年3月11日の東日本大震災による被災地の回復、復興も未だ途上、原発への対応、新政権によるアベノミクスの効果等わが国の未来を模索する年であった。そのようななか、東京支部総会も名工会の活性化にチャレンジすべく、土曜日開催、新しい会場、特別講演会の開催等の新たな視点で、平成25年11月9日(土)に新宿中野の「中野サンプラザ」で開催された。午後2時半頃、ゆったりとBGMが流れるなか、約170名の参加者が会場に入った。

ここ数年恒例となった済木氏(D35)の司会のもとに、まず阿部東京支部長(D41)の挨拶があり、名古屋工業会東京支部の現況、ポテンシャル、更なる活性化への決意を語られた。続いて来賓として、母校名工大から高橋学長、水野大学院教授(M53)、森大学院教授(D52)、名工会本部から篠田理事長(M33)に出席いただいた旨の紹介があった。

高橋学長の来賓祝辞ではPCを使われ、「名古屋工業大学の近況」報告が行われ、現状、教育、研究、社会貢献、国際交流、施設建物、同窓会及びトピックス等について紹介された。

続いて篠田理事長から、新しく「一般社団法人化」された名工会の事業目的の第一は「名古屋工業大学への支援」と挨拶され、「耀く、ますます耀く、母校を願って」の理念のもと、寄付の習慣化の依頼、また、卒業生の就職支援、卒業生との交流・連携、卒業生名簿の管理充実、大学情報の発信、卒業生の生涯メールアドレスの登録活用等について述べられた。

総会の議事として、阿部支部長より、会務報告、会計報告、会計監査報告が要領よく進められ、各種議案が承認され、そのあと特別講演会に移った。

特別講演会は同期鈴木満雄氏(D45)の紹介で首都大学東京大学院春田正毅教授(D45)に「現代の錬金術：金のナノテクノロジー」のテーマでお話を頂いた。さすが、ノーベル賞候補に挙がるだけの素晴らしい内容で、我々に同学の誇

りを感じる、刺激的で味わい深い、感動的な内容であった。

その後、恒例の懇親会に移った。懇親会は、東京支部副支部長坂井利充氏の乾杯の発声で始まり、また今回は初めてヨット部OB仲間ということで、名古屋、大阪の仲間3名に参加頂き、各科ごとにテーブルが分かれていたが、「科」の垣根を越えた談笑が和やかに行われた。

また、懇親会最大の呼び物である名工大管弦楽団OBによるフルートと弦楽四重奏の演奏があり、今回で5回目となるが、今回は映える中央壇上で、加藤氏(E39)のイニシアティブで女性団友を含む9名の方々からモーツァルトとバッハが華やかに演奏され、生演奏への賞賛の声があちこちで聞かれ、総会全体が和やかな雰囲気で大いに盛り上がった。

今回もメルクワイアーOBの織田氏(E39)が壇上に上がり、大震災からの復興を願って「見上げてごらん夜の星を」が特別に演奏され胸にジーンと来るものがあり参加者の多くが歌詞を口ずさんでいた。

総会担当、倉島氏(W38)の采配による追加した料理もすっかり平らげられ、あっという間に予定時間が過ぎ、管弦楽団と合唱団OBの先導による全員での学歌斉唱があった。

今年は各科も若い人の参加に力を入れており、今までにない活性化の芽を感じられた。その象徴として最後は今回参加者の最年少である稲垣氏(D17)の音頭で平成2桁の若手6人が東京支部会への抱負を述べ、万歳三唱の音頭を元気よく行った。やはり若者の力はバイタリティーがあるなと感心させられるなか、なごり惜しくも来年の再会を約してお開きとなった。

記：日沖 昭(Y40)

東京支部「第52回 東京ごきそサロン」報告

第52回東京ごきそサロンが、12月4日(水)18時から長年慣れ親しんだ八重洲倶楽部(閉鎖)に代って、東京八重洲ホールで開かれました。出席者は前回より若干減り35名でした。

講師は、飛島建設(株) 理事・技師長の尾崎猛美氏(A52修士卒)で「東日本大地震に遭遇した制震構法で補強された仙台市役所を中心として」をテーマに、今回の震災で建物被害はロッカーが少しずれただけといった、極めて軽微であった仙台市役所本庁舎に補強として採用された「トグル制震構法」についてお話をいただきました。

【講義内容】

建物の地震対策には、地震入力に①耐える耐震、②吸収する制震、③低減する免震があり、「トグル制震構法」はトグル機構とオイルダンパーを用いて、地震エネルギーを他の制震構法より効率よく吸収させる構法である。

築約50年の仙台市役所本庁舎は、耐震補強としてこの「トグル制震構法」を採用し、工事は平成20年完了したことにより、地震直後から庁舎機能を継続的に維持することができた。震災後の地震応答解析により、耐震補強をしなかった場合に比べて、建物の変形の層間変形角は最大1/4、相対変位は最大1/3に低減できたことが明らかになり、「トグル制震構法」による耐震補強が有効に機能したことが実証された。

講義は、講師による多岐にわたる熱心な説明によって時間が足りないくらいで、食事をはさんだ35分の質問時間でも多種の質問10件があり、活況を呈した。これらにより、出席者は「トグル制震構法」を十分に理解できたと思いました。

小生が初めて「ごきそサロン」担当となり、今回感じた「ごきそサロン」の問題点を下記致します。

1. 出席者が、卒業後平均43年で60歳未満の人がいない(殆どが常連者?)

⇒年代を超えたサロンとなっていない(青年・壮年層の出席が必要)。

2. テーマが、毎回、専門技術に関するものであり、堅い。

⇒同窓生の力の一部しか発揮されていない(時には人材育成のための講話・経験談が必要)。

これらの問題点を、今後皆さんのご指導・ご鞭撻を得て解決し、「ごきそサロン」を活性化していきたいと思います。

記：福間洋二(M49)



講師



聴講中



質疑応答

大阪支部主催 平成25年 地方部会行事 京都部会の報告

平成25年12月7日(土)に京都部会を開催しました。OB32名、奥様が1名参加してくださいました。日頃の行いが良かったのか、当日は晴天に恵まれました。まずは島津製作所創業記念資料館を見学しました。中学・高校・大学の実験でお世話になった理化学機器が多数置いてありました。それを見つけて、食い入るように見ておられる方が多数いらっしゃいました。懐かしかったのだと思います。

その後、がんこ高瀬川二条苑に場所を移しました。ここは江戸時代の豪商：角倉了以の邸宅跡です。また山県有朋が別邸として使用した由緒ある場所です。まずは、C44木越大阪支部長とD45西村京都部会代表のお二人に開催の挨拶をしていただきました。次に京都女子大学西尾教授に「京都花街の人材育成と事業システム」を講演していただきました。西尾先生は講演では、必ずお着物を召されるのだそうです。この日は淡い赤の着物でいらしてくださいました。以前は全国に多数の花街があったそうです。しかし、いまも存続しているのは珍しいそうです。その存続の理由はビジネスモデルと人材育成の仕組みなのだそうです。ビジネスモデルのひとつに「花街に遊びに来るお客様はお茶屋を窓口とする。お茶屋は舞妓さんや芸妓さんを抱えておらず、イベントがあれば置屋さんという一種のタレント事務所から舞妓さんなどのタレントを借りてくる」という仕組みがあります。これはAKB48と秋元康というプロデューサの関係と同じなのだという説明をしていただきました。古くからある花街と、最新の芸能の世界が同じ

仕組みで運営されていたことに驚きました。ほかにも興味深いお話がたくさんありました。花街には、我々工学屋の世界に通ずるknow-howが多数あるのだと、学ばせていただきました。「現役の頃に聞いておきたかった」とおっしゃってくださるOBの方がいらっしゃいました。

講演を終えたら、はるばる岡山から来てくださったK39松田さんにご発声をしていただき、ビールで乾杯です。みなさん、このときを待ちかねておられました。乾杯にあわせて舞妓さんに来ていただきました。会場の雰囲気は大きく変わりました。そして西尾先生に、舞妓さん特有の帯・髪形・髪飾りについてレクチャしていただきました。その後、舞妓さんには皆さんが座っておられるテーブルを回っていただきました。みなさん、舞妓さんにお酌をしてもらったり、舞妓さんとのツーショットを撮影されたりと楽しんでおられました。舞妓さんからは、参加者全員に千社札のプレゼントをいただきました。そこへ、さらに宴を盛り上げてくださる方がいらっしゃいました。C55の副島さんです。会社員・マジシャン・小説家と3足の草鞋を履いておられます。彼が舞妓さんをアシスタントにしたマジックを披露してくださいました。マジックを見ていると、マジシャンが本業で、会社員は副業ではないのかな？と思うくらいの腕前でした。

楽しい宴でしたが、永遠には続けられません。最後にE36藤原大阪副支部長にお言葉をいただき終宴としました。

記：筒井 真作(M58)



第95回名工大ごきそ会報告

平成25年9月27日に第95回名工大ごきそ会を会員16名のご参加をえて、名門藤岡カントリークラブで開催をいたしました。当日は、爽やかな風のなか、素晴らしいゴルフ日和となりました。会員の方々のなかには十数年ぶりに来られた方が多数おられ、ここの上り3ホールは名物難コースだよとゴルフ談義をしながらのスタートでした。

優勝は、久し振りに柴田 作氏がグロス86、ネット72でB G賞も同時に獲得をし、そして前回と同じく大橋聖一氏がグロス89、ネット75で2位を獲得されました。3位は、今回初めて参加されました加藤倫朗氏がグロス98、ネット78で獲得されました。

競技終了後、懇親会のなか表彰式を行い、そして今回新会員となられました加藤倫朗氏の自己紹介を交えながら会員方々の楽しい談笑の時間を過ごしました。そして、次回は三好CCで開催することを確認し、散会をいたしました。

記：柴田 作(A42)



東京支部「第53回 東京ごきそサロン」開催のご案内

開催日時：平成26年4月16日（水）18時00分～20時00分

開催場所：東京八重洲ホール 3階301会議室（東京駅八重洲口東200メートル）

電話：03-3201-3631 東京都中央区日本橋3-4-13 新第一ビル

テーマ：「語学研修を通じて感じた最近の中国事情」

講師：下前 哲夫氏（しもまえ てつお）氏（E39、41修士卒）：元JR東海常務取締役・（社）日本鉄道電気技術協会会長

※詳細は本会HPの会員限定「新着情報」をご覧ください。

会費：名古屋工業会会員：無料、非会員：1,000円（全員に食事が付きます）

申込先：食事の準備の都合上、4月9日（水）までに下記の各科常任幹事宛、電話又はe-mailでお申し込み下さい。各科常任幹事は出席者名簿を4月12日（土）までに三山までE-mail（mmiyama@ff.em-net.ne.jp）によりご連絡下さい。

C：樫尾恒次 Tel：03-5833-7722
e-mail: k_kashio@koutsuservice.jp
A：石田交広 Tel：03-3533-6081
e-mail: t_ishida@tomoe-corporation.co.jp
M：北野良幸 Tel：045-822-3293
e-mail: y-kitano@c3-net.ne.jp
E：三浦太朗 Tel：050-1580-3039
e-mail: violataro@yahoo.co.jp
D：三山雅敏 Tel：047-344-3207
e-mail: mmiyama@ff.em-net.ne.jp
W：倉島俊二 Tel：048-654-8238
e-mail: kurashima-s@jcom.home.ne.jp

Y：日沖 昭 Tel：045-911-3340
e-mail: hioki3@y6.dion.ne.jp
K：阪井真人 Tel：046-803-5850
e-mail: rensaka@iis.u-tokyo.ac.jp
F：寺倉 学 Tel：03-6713-1173
e-mail: terakura_ma@keb.biglobe.ne.jp
B：佐藤 弘 Tel：045-825-3734
e-mail: sato-sato@c3-net.ne.jp
Es：平手孝士 Tel/Fax：045-321-7626
e-mail: hirate@nifty.com
Ⓚ：北野 豊 Tel/Fax：03-3467-5739
e-mail: ykitano@rio.odn.ne.jp

大阪支部 平成26年「春季歴史探訪の会」案内

支部長 木越正司 (C44)

事業委員会 委員長 三木敏裕 (E48)

「集いの会」担当 田中禎一 (E36) 藤原康宏 (E36)

今回は「近江商人を生んだ水郷の里“近江八幡”を訪ねて」をテーマに次の要領で開催します。

※詳細は本会HPの会員限定「新着情報」ならびに大阪支部HPをご覧ください。

日時：平成26年4月12日(土) **午前10時** 集合 現地：10:00～17:00の予定(雨天決行)

集合場所：JR東海道本線「近江八幡」駅前

行程：ヴォーリス建築群、近江商人の館群、八幡堀、手漕ぎ和船で水郷巡り、船上にて近江牛のすき焼き(昼食)、かわらミュージアム、日牟禮八幡宮、ロープウェイで八幡山登頂等

※詳細は下見後、参加者各位にご連絡し併せて支部HPに掲載

参加費用：一人料金 会員5,000円 ご家族・ご友人4,500円
(水郷巡り乗船代、昼食代、各博物館入館料、保険料等全て含む)

参加人員：30名

申込先：藤原 康宏 (E36) E-mail: y-fuji@kcn.ne.jp TEL / FAX: 0743-78-6000

申込締切日：3月30日(日)

申込記入事項：①氏名 ②勤務先(OBの方は元) ③住所<保険付保のため必須>

④学科・卒業年次 ⑤TEL / FAX ⑥緊急連絡用携帯番号 ⑦E-mailアドレス

大阪支部・兵庫支部共催 平成26年春季見学会開催のお知らせ

大阪支部長 木越正司 (C44)

兵庫支部長 楠田修三 (A50)

空調界のリーダー的存在であるダイキン工業株式会社 堺製作所様の工場見学会と講演会を次の要領で開催します。詳細は本会HPの会員限定「新着情報」ならびに大阪支部HPをご覧ください。

日時：平成26年5月16日(金) **午後2時** 集合 現地：14:00～17:00の予定(雨天決行)

集合場所：大阪市地下鉄・御堂筋線「中もず」駅改札口前

内容：14:15～15:45 会社・工場の紹介と工場見学

15:50～16:50 講演会「エアコンの最新技術」(仮題)

講師：同社環境技術研究所 鄭 志明氏(工博・M④院)

17:15～18:45 堺市内にて懇親会

参加費用：2,500円(ただし、懇親会参加費用として)

参加人員：30名

申込先：加藤 修 (K48) : bacet500@jttk.zaq.ne.jp TEL: 0797-80-4041 (携帯) 090-5055-6315

井田 登 (F②院) : idanoboru@coast.ocn.ne.jp TEL: (携帯) 080-3852-4242

申込締切日：4月30日(水)

申込記入事項：①氏名 ②勤務先(OBの方は元) ③住所 ④学科・卒業年次 ⑤TEL / FAX

⑥緊急連絡用携帯番号 ⑦E-mailアドレス

平成26年度 尾張支部総会のご案内

1. 日 時：平成26年4月19日（土）13時30分～18時30分
 2. 場 所：名古屋文理大学文化フォーラム(旧・稲沢市民会館) 小ホール
(稲沢市正明寺3-114 電話0587-24-5111)
 3. スケジュール：詳細は本会HPの会員限定「新着情報」をご覧ください。
13:30～14:10 第1部 支部総会
14:15～15:30 第2部 特別講演
①『高齢者の発話から認知症の危険度を察知する情報技術』
名古屋工業大学大学院情報工学専攻 准教授 加藤昇平氏
②『高齢者ケアを考える～認知症の理解と予防～』
名古屋市立大学看護学部高齢者看護学 講師 湊田英津子氏
15:40～16:40 第3部 ミニコンサート 歌手：京樹真那氏(元・宝塚)、ピアノ：伊藤真理子氏
16:45～16:50 第4部 記念撮影
17:00～18:30 第5部 懇親会
 4. 参加費：正会員3,000円 会員（会費未納者）4,000円 初参加者2,000円
家族（懇親会参加）2,000円
ただし、特別講演およびミニコンサートのみご参加の場合は無料です。
 5. 申込方法：正会員の皆様は今年2月にお送りしたご案内に同封の葉書で4月10日までに申し込みください。案内未着の場合は次のところへお問い合わせください。
〒492-8008 稲沢市赤池町2306 名古屋工業会尾張支部 玉田欽也（W32）
電話：0587-32-0829 ファックス：0587-34-5122
- 名古屋工業会理事長・篠田陽史様（M33）並びに本年4月に新学長就任の鵜飼裕之様（F52）に出席していただく予定です。

平成26年度 東京支部エクスカースンご案内

群馬県にある臨済宗建長寺北の門と言われる、花の寺「青龍山 吉祥寺」と東洋のナイアガラと言われる「吹割の滝」などを巡るバスツアーを企画しましたので、奮ってご参加ください。

日 時：平成26年5月17日（土）午前8:00集合 8:10出発 〈雨天決行〉

集合場所：東京駅八重洲南口

募集人員：先着順40名

参加会費：会員及び同伴者 4,000円、非会員及び同伴者 5,000円（予定）

コース概要：東京駅八重洲南口（8:10出発）→吉祥寺／拝観境内散策→酒蔵「誉国光」（食事と酒蔵見学）→吹割の滝／滝周辺散策→東京駅八重洲口（18:30頃到着予定）解散

申込方法：個別案内は致しませんので、下記の幹事に電話またはFAXでお申し込みください。

お申し込み時に、氏名、卒業年次、連絡先、電話番号をお知らせ願います。

申込先（幹事）：C42 坂井利充 Tel 03-5756-9800 FAX 03-5756-9809

D44 岡本利郎 Tel 03-5817-4381 FAX 03-5817-4382

C47 小林 保 Tel 03-5835-1711 FAX 03-5835-1712

A61 工藤利昭 Tel 03-6229-7229 FAX 03-5561-2327

※詳細は本会HPの会員限定「新着情報」をご覧ください

(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

36年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってくだされば

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500→¥204,750 etc.

エクセレントコース ¥378,000→¥362,250 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ
(月曜定休) **0120-415-412**
<http://www.bridal-vip.co.jp>
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・定期刊行物 etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる版組みの書籍・表組みの頁物も得意分野です。

印刷

カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。
Macintoshのみならず、ワード・大印等の通常のオフセット印刷に過ぎないWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

製本

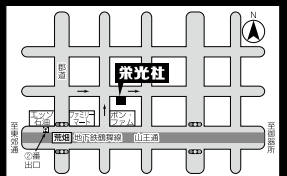
自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・童話・絵本等、自分の本を作りたいたいとお考えの方。
食糧・ニュース・広報・配布文書・名刺・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットよりお手伝いします。

総合印刷の



有限会社 栄光社

〒466-0014 名古屋市中区東栄町一丁目42番地
TEL.(052)741-7701
FAX.(052)741-7703
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~eik/>
E-mail eikou@theis.ocn.ne.jp



一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は15,000部を隔月発行し、
会員・広告主・関係官庁・各学会・大
学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

特許業務法人 英知国際特許事務所

EICHI Patent & Trademark Corp.

所長 弁理士 岩崎孝治

—— 知財の総合コンサルタント ——

【東京本部】〒112-0011 東京都文京区千石4-45-13

TEL: 03-3946-0531(代) FAX: 03-3946-4340

【神奈川支部】〒224-0006 横浜市都筑区荏田東1-23-2

TEL: 045-532-3827 FAX: 045-532-3828

【浜松支部】〒430-0806 浜松市中区木戸町3-18

TEL: 053-461-5662

【山形支部】〒994-0026 山形県天童市東本町1-2-20

TEL&FAX: 023-651-6102

【大阪支部】〒593-8324 堺市西区鳳東町2-198

TEL: 072-201-1593 FAX: 072-201-1596

【仙台支部】〒593-8324 仙台市青葉区米ヶ袋1-2-6-402

TEL: 022-399-9604

<http://www.eichi-patent.jp>

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座—材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ、各種要素技術…

品質系全30講座—DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法

マネジメント系全10講座—経営品質、もしどろーダシッパ、
プロジェクト管理…

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒458-0901 名古屋市中区錦2-15-22リそな名古屋ビル7F

TEL: 052-219-6025

FAX: 052-219-6026

E-mail: solution@worldtech.co.jp

広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

前田 健一	山盛 康 (SC③)
北川 啓介 (A⑧)	安楽 崇宏 (M⑧)
大羽 達志 (MF③)	廣瀬 光利 (E50)
中村 剛士 (EJ⑤)	吉木 満 (W56)
高木 幸治 (ZW⑤)	野中 久義 (D⑨)
吉野 明広 (G53)	道家 清正 (Y30)
本多 沢雄 (ZY⑥)	宮地 義彦 (K50)
米谷 昭彦 (F60)	守田 賢一 (F47)
横山 淳一 (Fb⑥)	澤村 泰政